

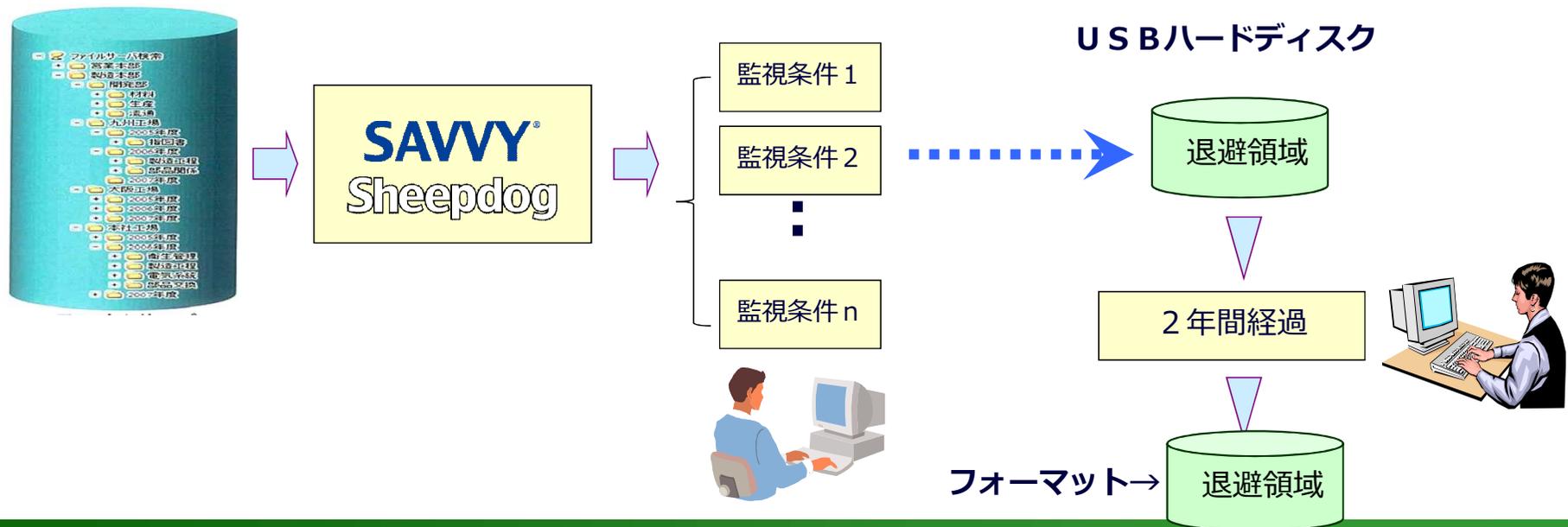
SAVVY[®] Sheepdog の導入事例





事例 1 流通業

- データ量 : 2.5TB、300万ファイル、27万フォルダ
- フォルダ構成 : 主に部門単位のフォルダ構成
- 監視条件数 : 20条件前後
- 概要 : 全社で利用。
定期的に条件を時間をずらし監視。
検知された対象を自動退避。
3年間使われなかった物を監視。
退避してから2年経過後削除。





事例2 公共インフラー 1

データ量 : 3 T B

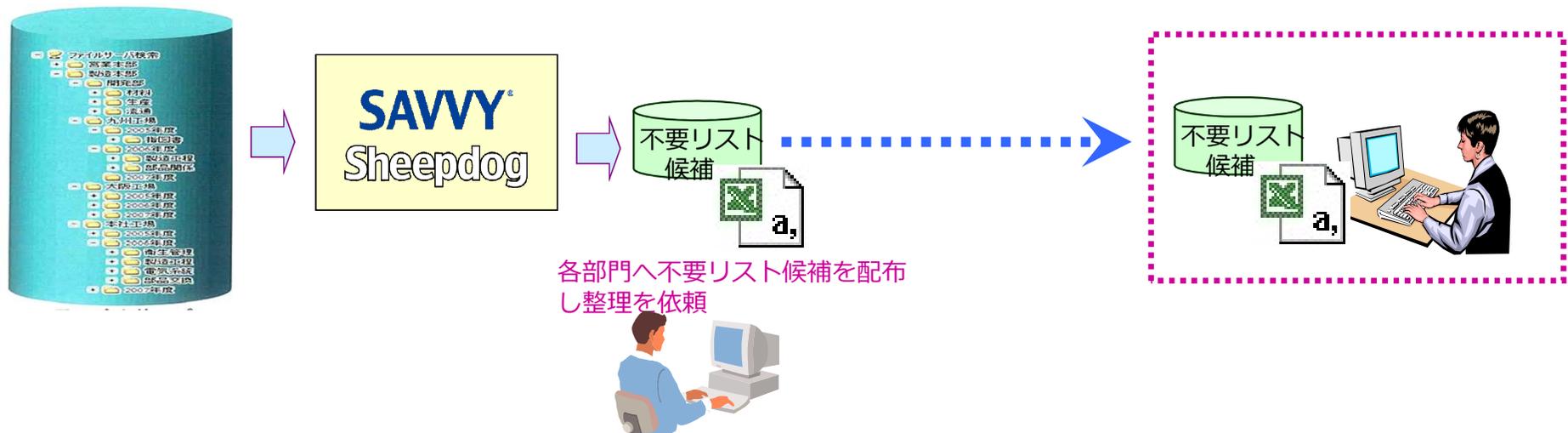
フォルダ構成 : 部門単位

監視条件数 : 3 条件

概要 : 1 事業部での利用。

事業部単位でファイルサーバの容量制限が行われており、既定容量以下とする必要があったが管理者はどれを整理すればよいのかわからない状態であった。

部門単位で重複ファイルとファイルサイズの大きいファイルを監視、各部門へリストを提供し削除や移動を実施。





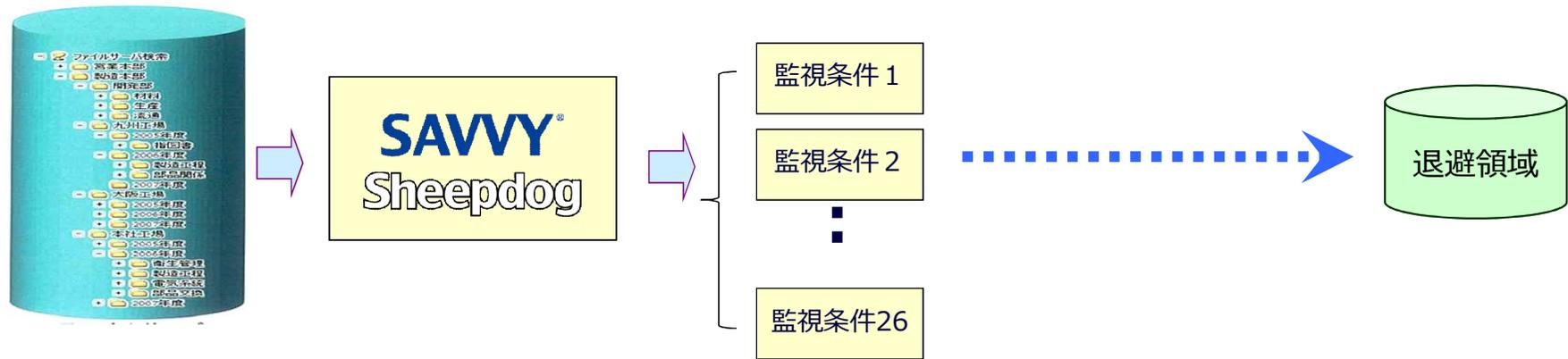
事例3 公共インフラ - 2

データ量 : 1 T B

フォルダ構成 : 部門単位

監視条件数 : 26 条件

概要 : 全社での利用。
 部門単位でファイルサーバのフォルダ管理が行われており、
 全体の容量が不足しているがアナウンスしても整理が行われない。
 強制的に退避する事を実施。
 部門によっては動画もあり、退避させた。
 実施後は1 / 3の削減は出来たものの、必要との判断で戻った物もあり。





事例4 製造業

データ量 : 10TB

フォルダ構成 : 部門単位

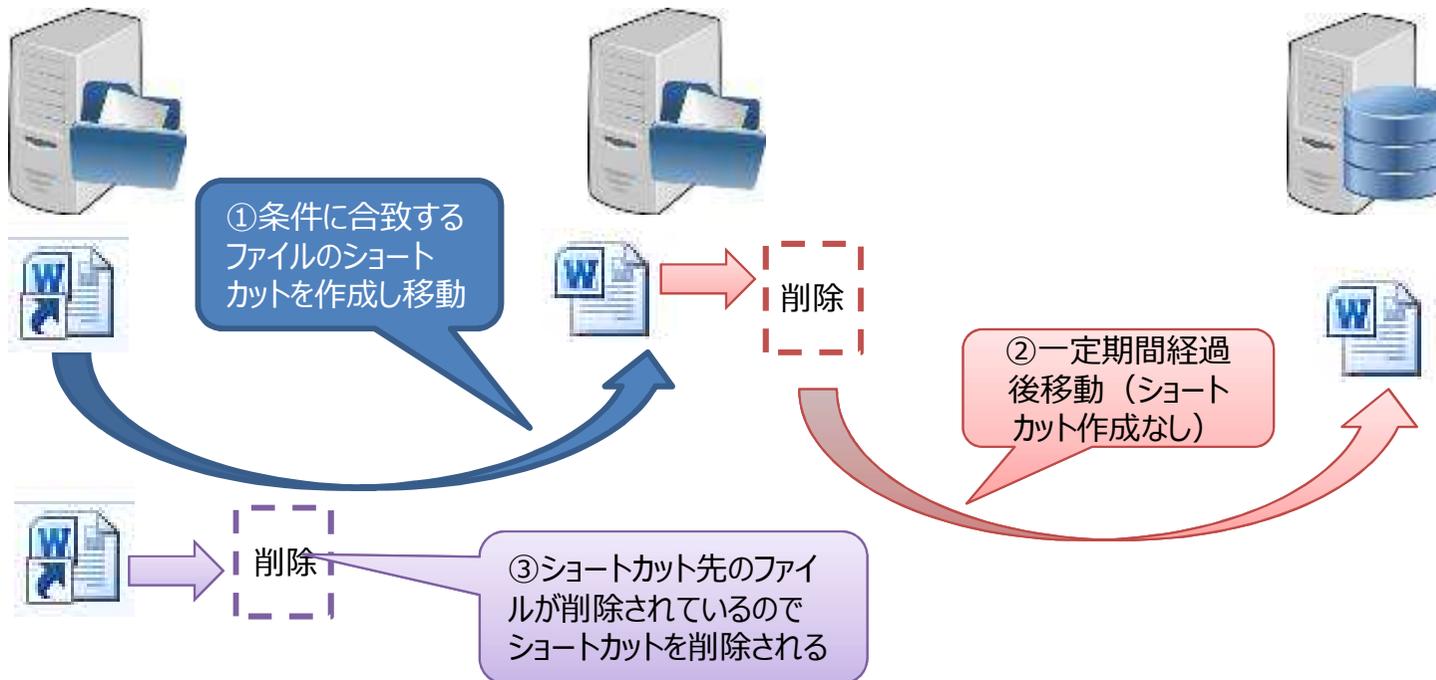
監視条件数 : 20条件

概要 : 1次ストレージにかかるコストを最小限に抑えファイルのライフサイクルを自動で管理

1次ストレージ

2次ストレージ

退避用





参考情報(引合い情報)

- ☑参考1 : 54TBの最適化。CAD中心のデータで整理がされていないし整理をお願いしても容量の削減効果が出ない。他の製品を検討したが、容量で費用が高くなる。設定が複雑等課題がある。
- ☑参考2 : 拠点が30拠点あり、それぞれの拠点到容量制限をつけた運用を行っているが容量が逼迫し、毎週、整理の依頼を行っている現状であれば自動化をしたい。また、各拠点到て最適化の運用をさせたいが他の拠点到は自拠点到の状況を見られたくない。
- ☑参考3 : 最適化を計画しており、バイナリ(オリジナル)の重複チェックを一度は行いたい。ファイル名が「コピー～」であったり名前を替えられたりして重複チェックが難しいので**重複チェック機能**は嬉しい。通常は古いもの、使われていないもの等に最適化。
- ☑参考4 : Sheepdogは他社と比較して設定、**運用が単純**である。
- ☑参考5 : Sheepdogは**容量制限が無い**し**監査対象サーバ台数に制限が無い**為価格メリットがある。